

4 災害時の情報収集

市では、災害が発生し、または発生する恐れがある場合、防災行政無線により災害情報や避難情報をお知らせします。いざというときは、速やかに身の安全を確保する行動をとるとともに、自発的に情報収集を行いましょよう。



4月からサービス開始!

放送が聞き取れなかった! そんな時...



防災行政無線の放送内容を電話で確認できるようになります

最近では、住宅の高気密化や周辺の交通量の増加などの理由から、放送内容が聞き取りづらい場合があります。こうした場合への対応として、防災行政無線で放送された内容を電話で確認できるサービスを4月から開始します。

電話番号は、**0480-22-6177** です。(通話料がかかります)

- ・放送終了直後から利用できます。
- ・新しい放送内容から順に再生されます。
- ・定時放送(お昼のサイレン、児童の登下校放送、市の歌)は、聞くことができません。



メール配信やツイッターでも放送内容を確認できます

メール配信サービスの登録方法は、登録用アドレス(kuki.bousai@mpme.jp)へ空メールを送信後、返信メールの案内に従って登録してください。

また、4月2日(月)から防災行政無線の放送と連動して、市公式ツイッター(Kuki_City_PR)でも、防災行政無線の放送内容をお知らせします。さらにツイッターアラートに登録しておく、市からの避難情報や緊急情報などをプッシュ通知でお届けできます。



メール配信



ツイッター



5 弾道ミサイル落下時の行動



弾道ミサイルは、発射から極めて短時間で着弾します。ミサイルが日本に落下する可能性がある場合には、Jアラート※を活用して防災行政無線で特別なサイレンとともにメッセージを流すほか、緊急速報メールや市ホームページのトップページ等で緊急情報をお知らせします。防災行政無線からメッセージが流れたら、その指示に従って、落ち着いて行動してください。

※Jアラート…国がミサイル情報や緊急地震速報、津波情報など、時間的余裕のない緊急情報を注意が必要な地域に送信し、市町村等に設置されている防災行政無線のスピーカーや登録制メールなどを通じて、緊急情報を瞬時に伝達するシステムです。

避難方法

<屋外にいる場合>

- 近くの建物(できればコンクリート造り等頑丈な建物)の中、または地下(地下街や地下駅舎などの地下施設)に避難する。
- 近くに適当な建物等がない場合は、物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。

<屋内にいる場合>

- 窓のない部屋に移動する。
- 窓のない部屋がない場合は、できるだけ窓から離れる。

◆国民保護ポータルサイト◆

http://www.kokuminhogo.go.jp/shiryu/hogo_manual.html

● Jアラートを利用した全国一斉情報伝達訓練を実施します ●

3月14日(水)11時から訓練を開始します。防災行政無線から「これは、Jアラートのテストです。」という放送が流れますので、ご注意ください。

6 自主防災組織の活動に参加しましょう

大規模な災害が発生した場合は、行政や防災関係機関の対応には限界があるため、地域住民同士の助け合いによる自主防災活動が非常に重要になります。自主防災組織は、災害による被害を予防し、また、災害発生時の被害を軽減するための活動を行います。

日ごろから、自治会や自主防災組織の活動に積極的に参加し、近所の方とコミュニケーションをとることで、いざというときに助け合える環境をつくりましょう。

自主防災組織の活動例

平常時	災害時
<ul style="list-style-type: none"> ● 防災知識の普及 ● 地域の危険個所の把握 ● 防災訓練の実施 ● 防災資機材の整備・点検 	<ul style="list-style-type: none"> ● 災害情報の収集・伝達 ● 初期消火 ● 避難誘導 ● 被災者の救出・救護 ● 避難所運営